

日本一元気・きれい・健康な町

開成町長 府川 裕一

新年明けまして おめでとうございます

昨年4月から「明るい未来に向けて 人と自然が輝くまち・開成」を将来都市像に掲げた第五次開成町総合計画がスタートし、新たなまちづくりの一步を踏み出しました。

そのような中、「日本一元気な町、日本一きれいな町、日本一健康な町」をまちづくりのキーワードとし、さまざまな『元気プロジェクト』を実施してきました。

一例をあげますと「元気」では、あしがら花火大会に合わせコンサートやバーベキュー大会、屋台村を実施し、新しい納涼祭りとして多くの方楽しんでいただきました。

また、「きれい」では、町をきれいにするために、毎月1回町職員による公共施設の清掃とパトロールを始めました。自分の町を知り自分の町をもっと好きになる、そんな意識も高まってきたように思います。

さらに「健康」では、毎週月曜日の朝に役場前駐車場でラジオ体操を行い、町職員から率先して健康づくりに取り組んでいます。

今年の春には、開成町と大井町を結ぶ新しい橋が開通する予定です。名前は「足柄紫水大橋」です。開成駅周辺南部地区の土地区画整理事業も夏には完了し、良好な住環境が整います。人と車の流れも大きく変わります。一日も早く移り住んでいただけるよう定住促進策を進めていきます。

また、瀬戸屋敷を核とした北部地域活性化にも力を入れていきます。弥一芋の特産品化などの6次産業化事業の支援や、新エネルギーとして注目される小水力発電用水車の設置、環境のバロメーターであるホタルが見られる公園の整備、豊かな自然を生かした子育て支援などを具体化し、交流人口を増やしていきます。

開成駅周辺と瀬戸屋敷周辺の将来構想図を今春には完成させ、皆様にご提示する予定です。楽しみにしていてください。

また、町の組織・機構の見直しやファミリーサポートセンターの設置など、子育て支援の充実を図っていきます。

賀詞交換会では、「萬古清風」を掲げさせていただきます。古来伝承の理念を尊びながらも、来年2月の町制施行60周年に向けて、新しいものを創っていきける年したいと思います。

今年も町民の皆様の目線で考え、行動するために、積極的に皆様方のごところへお伺いしますので、一緒に「日本一元気な町」を創っていきましょう。

